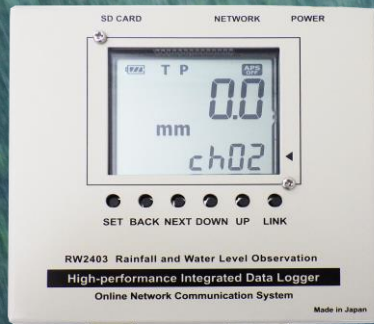


雨量計専用データロガー

RW2403-R



前面



センサー信号入力部

データ収集はオンライン・オフラインとも対応

小型、軽量
多様な電源供給
方法で稼働

データ収録に
信頼性の高い
フラッシュ
メモリを採用

本機は、雨量観測のための機能に特化した小電力の雨量計専用データロガーです。商用電源(AC100V)がない場所で連続観測ができるように、バッテリーとソーラーパネルの組み合わせで稼働します。雨量計から入力した信号は基本的な統計処理後メモリに保存、有線ネットワークやモバイルルーターを使用したデータ転送が可能です（バッテリーのみでの運用の場合は通信はできません）。

機能

✓ 観測データは常にメモリに保存

観測データは、常に本体内蔵のフラッシュメモリに記録されます。運用中に停電や通信障害が発生した場合でも、観測データは消失せず、復旧後に収録したデータの収集が可能です。また、現場でデータを回収したい場合は、ボタンスイッチの操作のみでSDカードにデータを収録することができます。

✓ 前面パネル操作

前面パネルにLCDと6個の押しボタンスイッチを装備しており、現場で機器の状態や測定値の確認、および各種設定項目の確認や変更が可能です。

✓ ソーラー電源・モバイル通信での運用

バッテリーとソーラーパネル、モバイルルーターを組み合わせ、商用電源や有線ネットワークのない場所でもリアルタイムにデータ収集が可能です。リアルタイム収集を行わない場合は、バッテリーによる運用も可能です（稼働時間はバッテリー容量による）。

✓ 通信インターフェースを装備

Ethernetポートを備えており、各種通信網に接続が可能です。

※プロトコル：TCP/IPをベースとした独自手順

✓ 雨量データ収集は選べる3タイプ

- ①弊社クラウド環境を利用したオンライン収集
- ②お客様でデータ収集ソフトウェア（別売）を導入したオンライン収録
- ③データロガー単体でのオフライン収録

✓ オプション機能

- ・データ収集ソフトウェア
通信網を利用した観測データの自動収集が可能です。
- ・専用表示ソフトウェア
リアルタイム表示、帳票表示、CSVファイル出力、印刷、Web表示機能等が利用できます。

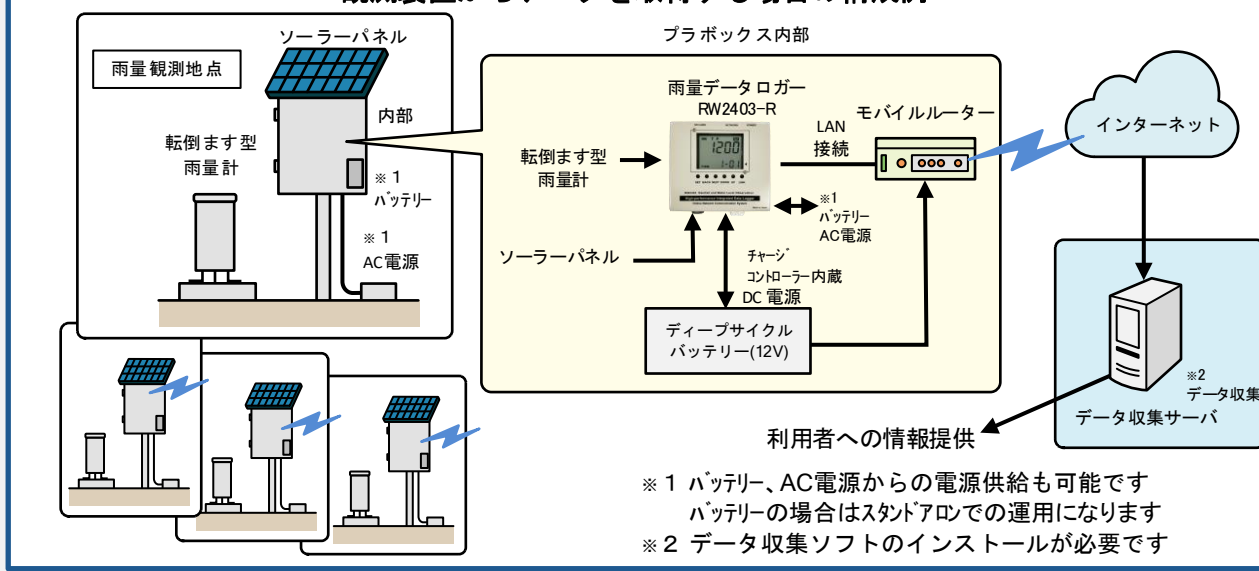


気象情報通信株式会社

Weather Information & Communications Service LTD.

構成例

観測装置からデータを取得する場合の構成例



機器仕様

雨量データロガー RW2403-R

外部電源	電源電圧：DC11V～15V (AC100V電源アダプター) ※ソーラー電源の場合、11.0V以下でオフラインモードに移行 ※バッテリーのみで稼働させる場合は通信はできません 消費電力：約10mA以下、通信時100mA(@DC+12V)
パルス入力	入力仕様：無電圧接点 × 1CH 通算パルス：65,536パルスで巡回
通信インターフェース	インターフェース：Ethernet プロトコル：TCP/IP 独自手順
センサーコネクタ	4Pプラスチックコネクタ
外形	95mm(H)×135mm(W)×30mm(H)
重量	約500g
設置環境	-10℃～+60℃ ※結露しないこと
統計処理	1分値、10分値、1時間値、連続雨量、雨量強度 など
メンテナンスソフトウェア	通信ポートを介して各種設定の確認・変更、データ収集
SDカード	1GB以上 ボタンスイッチ操作によるデータ収集可能
オプション	
電源	ソーラー電源（ソーラーパネル・ディープサイクルバッテリー）、外部バッテリー
データ収集ソフトウェア	通信ポートを介して観測データ（複数地点可）の自動収集
専用表示ソフトウェア	最新状況表示、帳画面表示、CSVファイル出力、印刷、Web表示対応
監視ソフトウェア	警報接点出力、ブザー付きパトライト対応
※各ソフトウェアの前提環境はMicrosoft Windows10 および Windows Server 2016 以降	

